



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

「研修講座から」	・・・・・・・・・・・・・・・・	p.1
「見方・考え方が働く単元をつくろう⑨（総合）」	・・・	p.2

研修講座から

ゼロからのプログラミング教育～プログラミング教育の基礎と実践～ 10月20日実施

この講座は、上越教育大学教職大学院 教科教育・学級経営実践コース 桐生徹教授、大島崇行准教授を講師にお招きし、23名の方が受講しました。

＜講座のねらい＞

- 2020年度から小学校で導入されるプログラミング教育の目的を理解し、そのためにどのような教材開発、指導方法を取り入れるべきなのか、受講者相互に考え、授業を作っていくアイデアを得ること
- 実際にドローン飛行のプログラムをみんなで考えることで、教室でのICT活用時のメリットや改善点などを体験すること



＜講座の内容＞

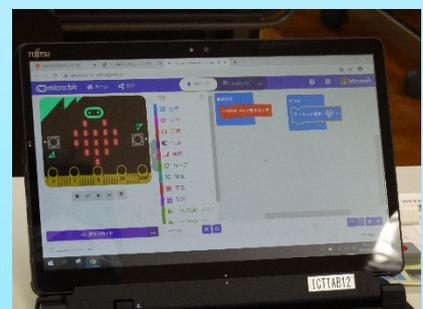
- （講義）プログラミング教育って何をするの？
- （講義）プログラミングを体験しよう

講座の様子



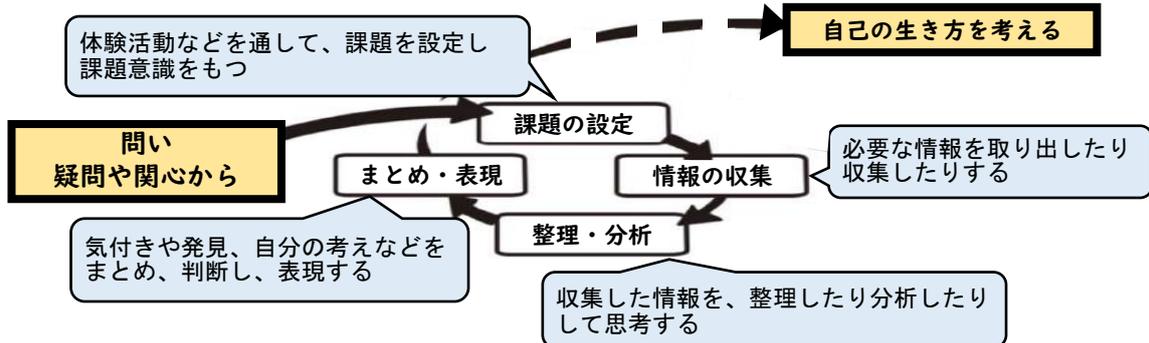
◆◆◆受講者ふりかえりから◆◆◆

- 実際の教科とプログラミング教育をどう結び付けていけばよいのかその方向性が見えてきた
- 疑問だらけだった自分でも「これなら実践できる！」というものを感じることができた
- アンプラグドプログラミングは、身近な活動をプログラム化して考えるので、子どもたちにもわかりやすく、興味をもちやすいと思った



見方・考え方が働く単元をつくろう⑧

総合的な学習の時間では、「問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく」こと、つまり「探究的な学習」が大切です。探究的な学習における児童生徒の学習の姿は、次のようになります。



「小学校(中学校)学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」をもとに作成した探究のプロセス

この探究のプロセスは、小単元で一回りし、探究的な学習が深まりながら、次の小単元へと連続していきます。そして、探究のプロセスを支えるのが、「探究的な見方・考え方」です。



「探究的な見方・考え方」とは、どのようなことなのでしょう。

小・中学校ともに、「探究的な見方・考え方」には、次の二つの要素が含まれます。

- ① 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせるということです。各教科等の特質に応じた見方・考え方を、探究的な学習の過程において必要に応じて総合的に活用します。
- ② 総合的な学習の時間に固有な見方・考え方を働かせることです。それは、特定の教科等の視点だけで捉えきれない広範な事象を、多様な角度から俯瞰して捉えることであり、課題の探究を通して自己の生き方を問い続けるという、総合的な学習の時間に特有の物事を捉える視点や考え方です。子どもたちが「探究的な見方・考え方」を働かせる具体について、次の事例でみましょう。



事例：探究課題「ものづくりの面白さや工夫と生活の発展」 単元名「ホウキキビから箒を作り、学校をきれいにしよう」
(小学校第3学年) ※小単元名は省略

全校の人たちが学校をきれいにできるように、箒を作って配りたいな。

理科「理科の見方・考え方」
ホウキキビは、アサガオと同じように育てればいいのか。
(共通性・多様性)

種まき

鳥被害対策・間引き・追肥

収穫

達人さん

M市には箒を作る達人さんがいるって聞いたことあるよ。

昔はM市で何人も箒を作っていたけれど、今は作っている人は4、5人しかいないなあ…。

社会科「社会的事象の見方・考え方(小学校)」
M市の箒の歴史：なぜ、M市では箒が作られていたのかな。
なぜ、作っている人が減ったのかな。
(起源・人々の生活とのつながり)

「固有な見方・考え方」
私たちが使いやすい箒は何箒かな。

「固有な見方・考え方」
学校の箒で傷んでいるのもあるけれど、私たちの箒の使い方は正しかったのかな。

図画工作科「造形的な見方・考え方」
廊下や階段の隅っこをきれいにするには、手箒がちょうどいいかもしれない。(造形的な特徴)

完成!

これで学校をきれいにできるかな。私たちの作った箒はどうだったかな。感想を聞きたいな。箒もできたし、私たちもこれから何ができるか考えよう。

実社会・実生活における問題を、子どもが解決しようとする方向性などに応じて、各教科等における見方・考え方を意識的に活用できるようになることが大切です。課題を解決し、新たな課題を見つけるということを繰り返していくなかで「自己の生き方を問い続ける」という、総合的な学習の時間特有の見方・考え方がさらに豊かになっていきます。そのために、まずは子どもがどのような「探究的な見方・考え方」を働かせると期待できるのか、ビジョンを明確にして、単元を構想していきましょう。

